

# しゃくなげ



DENSOKU  
No. 505号

発行日 2022年5月16日  
発行 株式会社でんそく

## 凡事徹底

代表取締役社長 櫻井 賤男

新緑の季節がやって来ました。朝夕は未だ寒い時もありますが、日中は初夏を思わせる暑い時もあるので、体調管理しっかりやって下さい。又、コロナ禍も継続しているので、日常マスク着用をお願いします。

電力業界として電力システム改革の発送電分離がスタートして2年経過しました。結果として電力会社様からの発注案件が少なくなっている状況下で令和4年3月期決算は客先様、納入業者様、及び社員の皆様方のご協力で終える事が出来ました。心から御礼申し上げます。

新年度に入って1.5ヶ月経過しております。お客様のニーズが毎年変化していく中で、私たち自身が気付いていない事が多くあります。その為にも訪問回数を増やしてお客様の要求に応じていく必要があります。新年度はDXを使って水力発電所の通信インフラ構築の提案が出来るよう力を入れていきます。併せてケーブル敷設業者として、端末処理、敷設技術習得技術者育成に努力してゆきます。物造り(製造部)としては、一般電力盤(作業分電盤等)以外に水力発電所主機に係る盤製作が出来る様にしたいと考えています。又、昨年度未達となった生産性アップ(工程短縮)のために設備・工具類の更新をして目標30%達成を致します。

これらを実現するために社員一人ひとりの意識改革が求められます。雑誌致知(5月号)に掲載されている、東京パラリンピックメダリスト浦田理恵さん(ゴールボール競技女子銅メダル)道下美里さん(女子マラソン金メダル)の2人の対談「誠の花を咲かせる生き方」から「メダルに届く人、届かない人の差は何か」について紹介します。浦田さんは「ゴールボール競技を十数年続けてきて思うのは“凡事徹底”の大切さです。たとえば自分が決めたトレーニングは毎日必ず実行する、栄養バランスを考えた食事をとる、挨拶は元気よくする。仲間に助けてもらっ

## 表彰状

令和4年4月26日、株式会社かんでんエンジニアリング 北陸支店 支店長 八鍬 正男様から表彰状と褒賞金をいただきました。

これは、2021年度の工事施工にあたり、年間を通じて関係者全員が一致協力し、安全確保と品質向上の推進に努力したことによるものです。

これからも安全第一、品質向上に心掛けていきたいと思います！



たら“ありがとう”、ミスをしてしまったら“ごめんなさい”を言う。それって当たり前のことのように見えて、なかなか出来ない。だったらその逆、その当たり前の事を当たり前に残り続けなければ特別になれるはずだと思って自分で決めた。この小さな事を、とにかく凡事徹底で積み重ねる事を大事にしてきました。」道下さんは「ブラインドマラソンも同じで42.195kmという距離に耐えなければいけない。一步一步の積み重ねをいかに大事にできるかが勝利につながっていきます。又世界の舞台でメダル獲得した方は、共通して“感謝”に辿り着いています。私も周りへの感謝の心を忘れず、競技を続けて行きたい。」と話されていました。これを読んで感じたのは、日常の業務において、会社経営理念でもある、でんそくフィロソフィ18ヶ条、でんそく安全憲章5ヶ条の一条一条を繰り返し学び、実践する以外にないと思いました。

今年に入っても、現場で事故が発生しています。守るべきルール、手順を頭ではなく体にしみ込ませて覚えましょう。新製品について、顧客のニーズは何かをしっかりと聞いて提案します。今年もお客様のでんそくでありたいと思っています。新年度の売り上げ目標に向けて頑張ります！

## 参禅研修に参加して

総務部 M.M



新入社員の参禅研修では最勝寺に行ってきました。

最勝寺では、座禅、ヨガ、食べる禅、掃除など普段なかなかできないようなことをしてきました。座禅では、普通の座禅と歩き座禅をしました。普通の座禅はやる前から何となくわかっていましたが、歩き座禅は聞いたことも見たこともありませんでした。ですがやってみるとどちらも似たようなもので立っているか座っているかでした。次にヨガでは普段伸ばさない筋肉を

伸ばしリラックスをしました。私はヨガをしたことがなくヨガをする前はとても楽しみでした。ですがやってみると体が思ったように伸びない、手が床につかないなどとても大変でした。でも終わってみると体がとても軽く感じ、またしてみたいと思いました。次に食べる禅では、食べる時のマナー、決まり事がありとても難しかったです。

私が今回の参禅研修で学んだ事は、意識する事です。最勝寺では、今何を食べているのか、歩き座禅の時に一步一步意識して歩くなど意識する事で違ったことが見えてくるらしいです。なので私もこれから何事にも意識を向けて取り組んでいきたいです。



## 押出機を使ったケーブル布設勉強会



工事部 N.T



でんそくが所持している押出機は全部で10台あり、全てを使用すれば最大約400mを押出機を使用してケーブルを布設・撤去することが出来ます。

今までケーブルを布設・撤去する際、多くの人手をかけ人力でケーブルを布設・撤去していた作業が押出機を使用することで少ない人数でケーブルを布設・撤去することが可能になり、身体的な疲労も緩和されることが期待出来ます。しかし、使い方を知らないまま押出機を使用すればケーブルの破損や使用者が怪我を負ってしまうこともあります。

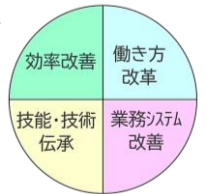
今回、工事部中尾さんが講師のもとEEC屋外で行われた『押出機を使ったケーブル布設勉強会』では押出機の配置や使用方法などを直に教えて頂いたことで押出機の利便性や危険性を勉強することが出来ました。

工事部の皆さん、今回の勉強会で学んだ知識と経験を活かし、これからは押出機を使って太くて重いケーブルの布設・撤去にチャレンジして作業の効率化・品質の向上を図っていきましょう！



## DXだより第1便 ～DXとは？～

DX(デジタルトランスフォーメーション)は、私たちの生活、仕事等をデジタル化して、便利にするという概念で、具体的には、システムやツールによって効率化し、生産性の向上を図る取り組みです。当社においても、DX化により、効率改善、働き方改革、技能・技術伝承、業務システム改善を実現したいと考えています。



また、今後、AI、IoT、5Gの普及が加速する中、お客様のDXの取り組み方針を敏感に察知し、Win-Winの関係を築ける提言案を検討し続けたいと思います。システム開発部 課長 S.N

## ～編集後記～

「凡事徹底」座右の銘にしたいすてきな言葉ですね。「凡事徹底」の由来は、イエローハットの創業者である鍵山秀三郎氏の言葉からと言われているそうです。「何でもないような当たり前のことを徹底的に行うこと」そんな小さな積み重ねが絶対差となると鍵山氏は言っておられます。日々無理せずコツコツ積み重ねていくこと、これが大事なんですね。挨拶でも掃除でも本当に当たり前のことでよいそうです。早速今からでも実行していきましょう。(K.A)